

短期事業計画 2018 - 21年度

【短期事業計画の重点推進項目】

- イ) 社会や時代が求める「音楽人」とは何かを常に問い直し、目指す音楽人育成のための教育体制を強化する。
- ロ) 教育水準をより高めるとともに、多様な学生にも対応する、両方向の施策を立案、実施する。これまでの様々な教育研究事業の妥当性の精査を図る。
- ハ) 地域及び社会との連携を図り、社会貢献事業を推進する。
- ニ) 「ちから強く生きる“音楽人”をここから」というメッセージをより一層社会に訴え、ブランドイメージを高める事業や効果的広報活動を推進する。
- ホ) 新校舎を含めた教育施設の効率的運用を、時間割の見直しとともに検討する。同時に既存施設改修事業を推進する。

本法人がさらなる発展を遂げていくために必要とされる目標を、4年スパンで捉えたものがこの「短期事業計画」である。これは学校法人が公益性を高め、社会の期待に応えるために達成すべき目標である。

【 短期事業計画 2018 - 21年度 】

■ 教育研究事業

達成指標	基本目標	事業コード	事業目標	担当
社会や時代が求める「音楽人」育成を目指すための授業を充実する。 社会や時代が求める「音楽人」育成を目指した多面的教育の体制を構築する。 ※ A=大学 B=短大	社会や時代が求める「音楽人」を育成するために授業を充実する。	A01 B01	01 独自の施設/設備を利用した実技の専門的音楽教育を充実する。	学務
			02 西洋伝統音楽への理解を深める実技以外の専門的音楽教育を充実する。	学務
			03 西洋伝統音楽以外の専門的音楽教育を充実する。	学務
			04 教育・研究領域との連携により、楽器資料館の所蔵資料を利用した教育活動のあり方を検討・構築する。	資料館
			05 国際交流活動を通じて学生の視野をひろげる教育を充実する。	キャリア
			06 オペラハウスの施設や蓄積されたノウハウを活用し、社会が求める音楽人材育成のための教育実現に参画する。	学務
			07 専門的音楽教育をより一層活かすために実務教育を充実する。	学務
			08 専門的音楽教育をより一層活かすために語学教育を充実する。	学務
			09 時代の要請及び学生ニーズに対応して、既存授業のコマ数/内容の適正化を行う。	学務
			10 教育成果を発表する機会及びシステムを充実する。	連・演
	社会動向を踏まえて定員規模を検討する。	A02 B02	01 定員数の調整基準を設定する。	入試
			02 将来の志願者動向・志願者数を予測する。	入試
	時代の要請及び学生ニーズに対応して、音楽人材育成教育を視野に入れた新カリキュラムを構築する。	A03 B03	01 時代の要請及び学生ニーズに対応して、社会が求める音楽人材育成教育を視野に入れた新カリキュラム構築を行う。	学務
			02 社会のニーズに合わせ計画的に大学の専攻の再構築を実施する。	学務
	現有人材の活用・新規人材の登用により、社会が求める音楽人材育成の教育を推進する人材を確保する。	A04 B04	01 現有人材の活用により、社会が求める音楽人材育成の教育を推進する人材を確保する。	キャリア
			02 新規人材の登用により、社会が求める音楽人材育成の教育を推進する人材を確保する。	キャリア
	学生の環境/能力に配慮した効率の良い履修制度を構築する。	A05 B05	01 学生の環境/能力に配慮した効率のよい履修制度を構築する。	学務
	在学生の学外音楽活動等の支援方針を策定する。	A06 B06	01 教育・研究領域と連携し、在学生の音楽活動の支援方針を策定する。	連・演
	大学教員の教育スキルを向上する組織的なFD活動を推進する。	A07 B07	01 組織的なFD活動による教育理論/教育方法の共有化を推進する。	学務
			02 教育技術向上に必要なツール講習を計画的に開催する。	学務
			03 教員の教育スキルを向上させるために組織的なFD活動を推進する。	学務
	学生の勉学を支援する体制を整える。	A08 B08	01 成績優秀な学生の勉学を支援する各種奨学制度を充実する。	学務
			02 円滑な学生生活を支援する為の方策を強化する。	学務
			03 学生相談室を充実し、退学・休学率を抑える。	学務
			04 学習支援を充実し、学生の基礎力を向上させる。	学務
	組織の健全な運営をチェックする自己点検評価・認証評価体制を構築する。	A09 B09	01 理事会・教授会・事務局による全学的な自己点検評価を実施し、認証評価を受審する。	管理
			02 自己点検評価・認証評価の結果を改善に結びつける体制を構築する。	管理
	全学的な研究体制を構築する。	C01	01 教育方針に基づき、教育の質と特色の充実につながる全学的な研究方針を立案する。	学務
02 研究方針に基づき、全学的な研究実行体制を構築・実施する。			学務	
03 全学的な研究成果を専門的音楽教育や多様な応用的教育へフィードバックする体制を構築する。			学務	
04 全学的な研究活動について、補助金・助成金等獲得のための体制を構築する。			学務	
音楽普及活動及び社会貢献施策を強化する。	D01	01 学生・教職員による図書館の利用率向上のための行動計画を立案し、実施する。	学務	
		02 学生・教職員による楽器資料館の利用率向上のための行動計画を立案し、実施する。	資料館	
		03 社会のニーズに対応した音楽普及活動を拡大・充実する。	連・演	
音楽幼稚園の活動を強化する。	E01	01 保育内容の特色を向上させ、定員に見合った園児数を確保する。	幼稚園	
		02 保育内容に適した人材の配置を確立する。	幼稚園	
		03 園児の安全を確保する体制を充実させる。	幼稚園	

■ 社会連携活動事業

達成指標	基本目標	事業コード	事業目標	担当
社会や時代が求める「音楽人」育成の為のキャリア教育に対応した在学生の進路支援体制を構築する。	正課及び正課外の「キャリア教育」によって育った学生が活躍できる進路を調査、開拓する。	F01	01 音楽指導者としてのニーズが今後高まる可能性のある音楽関連領域を調査、開拓する。	キャリア
			02 正課及び正課外の「キャリア教育」により育った学生が活躍できる音楽関連産業・企業を調査し、開拓する。	キャリア
			03 音楽関連産業以外の就職先として一般企業を開拓する。	キャリア
			04 海外提携校との連携を密にし、より効果的な交流を目途に在学生の留学機会の場を拡大する。	学務
	社会や時代が求める「音楽人」育成の為のキャリア教育を伸長させる進路支援講座を展開する。	F02	01 教育・研究領域と連携し、音楽指導者として必要な能力を高める支援講座(科目)を充実する。	キャリア
			02 教育・研究領域と連携し、教育指導者として必要な能力を高める支援講座(科目)を充実する。	キャリア
			03 教育・研究領域と連携し、一般企業の就職に必要な支援講座(科目)を充実する。	キャリア
	正課のキャリア教育活動(カリキュラム、教員の指導)と協働で、在学生の将来的な希望を実現するための進路支援体制を充実する。	F03	01 正課のキャリア教育活動(カリキュラム、教員の指導)と協働で、在学生の将来的な希望を実現するための進路支援体制を充実する。	キャリア
	在学生の音楽活動への学びの支援を強化する。	G01	01 在学生在が音楽活動について学ぶことができる新たな場を調査・開拓する。	連・演
02 在学生の音楽活動についての学びを支援するため、卒業生との連携を強化する。			連・演	
03 在学生の音楽活動への学びを円滑に支援する運営体制を構築・実施する。			連・演	
音楽教師(卒業生を含む)の音楽指導力を伸長させる支援を強化する。	社会が求める教師(卒業生を含む)の音楽指導力を伸長させる支援講習を展開する。	G02	01 社会が求める音楽教師(卒業生を含む)の音楽指導力を更に伸長させる支援講習を展開する。	キャリア
既存志願者層・新志願者層から志願者を多く獲得する体制を構築する。	入試制度について、計画的な新規制度の導入の必要性を検討する。	H01	01 入試制度について、現行制度の見直しに着手し、新規制度の導入を検討する。	入試
			02 入試の実施及び入試に関わる諸事業を適正に運営する。	入試
	教職員の入試広報活動の内容を向上するとともに、協力体制を推進・実施する。	H02	01 志願者を多く獲得するため、教職員の入試広報活動への協力体制を推進・実施する。	入試
			02 志願者を多く獲得するため、高等学校・楽器店・卒業生(幸楽会)との連携を充実・強化する。	入試
	開拓すべき新志願者層を選定し、入試広報活動を策定・推進する。	H03	01 開拓すべき新規志願者層(留学生、社会人等)選定し、決定する。	入試
			02 新志願者層(留学生、社会人等)のニーズに合った入試広報計画を策定し、推進する。	入試
オペラハウス事業の内容を充実する。	オペラハウスの存在意義、使命を再確認し、短期計画を策定する。	I01	01 オペラハウスの存在意義、使命を再確認するとともに、今後のあり方を検討・構築する。	連・演
			02 オペラハウスの存在意義、使命に沿った短期計画を策定するとともに助成金等を獲得し事業内容の充実を図る。	連・演
	オペラハウス活動を見直し、収入増加・コスト削減を図る。	I02	01 管弦楽団・合唱団によるオペラハウス外での演奏活動を促進する。	連・演
			02 国、学外の企業、団体等の外部資金を活用し、計画的な資金確保を促進する。	連・演
			03 業務内容及び経費の見直し、効率的かつ適正な人員配置を実現し、コストの削減を図る。	連・演
音楽院の会員を拡大させ、新規事業展開を強化する。	受講者数の拡大、支出の見直しにより収支の均衡を実現する体制を構築する。	J01	01 収入に見合った支出構造を維持し、より効率的な運営に努める。	音楽院
			02 サービスに適応したプランナー、スタッフを確保するとともに資質を向上する。	音楽院
			03 効果的な広報活動を行い、受講者数を拡大する。	音楽院
	教育のパイロット事業としての活動を充実する。	J02	01 大学に先立って、音楽市場の変化に対応した実験的な教育サービスを充実する。	音楽院
			02 より充実した教育サービスを提供できる指導者を発掘する。	音楽院
			03 大学施設を有効利用し、また学外での活動も視野に入れながら、十分な教育環境を整備する。	音楽院
			04 大学の教育・研究領域との連携を深め、より良い教育サービスを提供する。	音楽院
	音楽院が行う多様な学習希望者層への生涯学習活動を通じて、大学・短大への志願者拡大を図る。	J03	01 将来の志願者を受講者として獲得し、多様な層への生涯学習活動を通じて、大学・短大への志願者拡大を図る。	音楽院
			02 指導者として活動している卒業生との連携体制を模索する。	音楽院
			03 多様な学習希望者層に音楽市場が求める音楽教育サービスを提供する。	音楽院

■ 法人組織運営事業

達成指標	基本目標	事業コード	事業目標	担当	
組織運営体制を強化する。	組織を円滑に運営するための体制を構築する。	K01	01 法人の中長期計画を策定するとともに短期計画の進捗を管理する組織機能を新たに構築する。	管理	
			02 大学・短大の独自性を明確にする組織を再構築する。	学務	
			03 業務が円滑に遂行できる事務組織の再構築を行う。	管理	
			04 全学的な学内の情報共有を徹底する仕組みを構築する。	管理	
			05 各種データベースの管理・運営体制を確立する。	管理	
			06 役職、委員会などの役割・権限を整理し明確化する。	管理	
			07 法人組織全体の危機管理体制を整える。	管理	
全学的な広報体制を構築する。	法人全体のブランド力を強化する。	L01	01 各部署・組織との連携を強化しながら、全学的な広報戦略を立案・実施する。	広報	
高い学生満足度の向上に資する人事制度を構築する。	高い学生満足度の向上に資する教職員を育成・評価・活用する仕組みを構築する。	M01	01 学生ニーズに対応した教育への取り組みや質の高い教育成果を奨励する評価制度を検討する。	管理	
			02 評価制度により、職員の意識を高めるとともに人材を育成する。	管理	
			03 各事務部門に応じた職員の専門性を育成する仕組みを構築する。	管理	
			04 組織運営を担える教員を育成する仕組みを構築する。	管理	
			05 組織運営を担える職員を育成する仕組みを構築する。	管理	
			06 教職員の業務遂行ノウハウを組織に定着させる人員の配置、異動を実施する。	管理	
			07 教職員のやりがいを向上させるために必要な施策を実行する。	管理	
事業収支の均衡を図り、財政基盤を強化する。	寄付金募集の促進、補助金・助成金等の獲得体制を構築する。	N01	01 卒業生・在学生・企業などからの寄付金募集を促進する。	管理	
			02 補助金・助成金等獲得のための全学的な体制を構築する。	事務局会議	
	学生数減少に応じ経費(人件費・経常的経費)を適正化する。		N02	01 計画的な専任教職員の採用計画に基づき教職員数を適正化するとともに、人事制度により人件費を適正化する。	管理
				02 非常勤教職員数を適正化する。	管理
				03 法人組織の規模に応じ役員数を適正化する。	管理
				04 経常的経費を適正化する。	事務局長
	施設・設備の充実を図る。	教育研究関連施設・設備の充実。	P01	01 教育研究活動の円滑な運営に資するために教育環境を整備する。	管理
その他の施設・設備の充実。		P02	02 教育を除くその他の法人活動推進に資する施設・設備を充実する。	管理	
日常業務遂行	大学・短大経常事業。	Q01	01 円滑な大学・短大事務運営を実施する。	事務局会議	
	法人経常事業。	Q02	02 円滑な法人事務運営及び全学的な事務運営を実施する。	事務局会議	